

栽培種目 パイナップル(Pineapple)

パイナップルの栽培 (3年目経過報告：令和3年12月現在)

チーム名：4Eパイナップル栽培チーム 氏名：荒法昭（代表） 佐々木甫 大橋宜弘

1. 目的

市販のパイナップルのクラウン部から苗木を取り3乃至5年後完熟したパイナップルを収穫する。その後も同様に継続が可能。

別名：鳳梨（ほうり）

科名：パイナップル科 店頭販売品スムースカイエン

属名：パイナップル属

原産地：熱帯南米：ブラジル



環境条件

1	土壌酸度	5-6 B 鹿沼、ピートモス 水捌けの良い土壌
2	最低温度	-2℃、冬期間は室内（出来れば日当たりの良いところ）
3	鉢	8-10号プラ鉢が良い
4	期間	冬の温度及び日光による 3-5年
5	肥料	一般の化成肥料 春1回 実が成りだしたらリンブンを多く
6	置き場所	4月-10月 戸外日光が当たるところ
7	病気	殆ど無い（室内栽培時 カイガラムシ発生に注意）

2. 方法&経過

①クラウン部5日間陰干し 令和1年6月



クラウン部を5日間陰干し後、果肉を取り下葉（カレ葉部分）を取り除く

②1ヶ月後の水耕栽培状態 令和1年7月



水耕栽培容器にゼオライト剤を入れ（根腐れ防止剤）、部分的に白根の発芽確認

③2ヶ月後の水耕栽培状態 令和1年8月



白根が十分に発芽し鉢上げできる状態

④鉢上げ後の状態 令和3年12月



鹿沼土、ピートモスの7：3用土
8号プラ鉢

病虫害 特になし。

3. 考察（検討事項）

1. クラウン部の苗で長期間掛かる3-5年
苗の取り方は3種類あり、①冠芽（クラウン部）1本栽培、②裔芽1.5年実成、③吸芽1年実成。冠芽及び吸芽出の芽出しは新芽栽培なので困難差がある。
2. 寒さに弱いので路地植えが無理なので鉢植え。時間がかかる。
3. 栽培開始はパイナップルの購入時いつでも可能。
4. 収穫時の注意点：一般の果物の様に追熟はないので香りと色付きで食べ頃判断。

4. 今後の見通し

1. 3年目未収穫、4年目に挑戦。
2. 可能なら裔芽（えいが）、吸芽（きゅうが）で芽出し挑戦。

参考資料：カインズ他